



# 迎春



## 古代からの恵まれた環境を さらに次世代へ



播磨町長  
清水ひろ子

新年 明けましておめでとうございます。

希望に満ちた清々しい新年を迎えられたことと思います。新たな年の初めが、皆さま方にとって素晴らしい一年を予感させるお幸せな年明けであることを願うものでございます。

播磨町は大中遺跡を有し、古代から現代まで多くの人々が生活を営み、恵まれた地形、気象条件の下で、その恵みを享受し、文化を継承してまいりました。昨今の世界的な、そして日本各地で頻発する災害に、改めて播磨町やこの地域が持つ生活・自然環境をありがたく思い、さらなる「安心・安全のまち」としての充実に努めなければとの思いを強くしております。誰もが居心地のよい生活環境を持つことで、播磨町に住むことを誇りにしていただけるようなまちづくりをさらに推進してまいりたいと思っております。

幸いにも人口は微増という中で、若い世代の転入も増えており、今年幼稚園においての大幅なクラス増設も予定しております。少子高齢化対策を喫緊の課題として制度の拡充に努めながら、土山駅南町有地の開発・事業者募集、浜幹線の開通、阿閉漁港埋立地の整備など重要施策における完成を目指したいと考えております。

今年一年が皆さま方にとって、平穏で「幸」多きお年でありますように。

## 多様な住民参加に

### 責任を持つ議会へ



播磨町議会議員  
宮尾尚子

新年明けましておめでとうございます。  
午年の本年、住民の皆さまにおかれましては草原を駆け抜ける駿馬のごとく飛翔の年となりますようご祈念申し上げます。

現在、議会は国の動向も見据えながら急激な変化を見せております。特にわが町は大幅な定数削減を断行いたしました。議会報告会や請願者に意見を聞く場を設けるなど議会への住民参加を進めてまいりました。

一方、行政には住民参加の場は多様に設置されております。住民からの意見が尊重されることを大前提としつつも、それらが公平に行政の政策過程に反映されているか、サイレント・マジョリティーといわれる物言わぬ多数派の意見をどこまで吸い上げているかを監視するということは議会に課せられた重要な責務であります。

本年は世間より10年は遅れているといわれる議会の更なるIT(情報技術)化を視野に入れ、住民の皆さまの声を町政に反映するべく議員全員が精進を重ねてまいりますので、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

あけまして  
おめでとう  
ございます

議長 宮尾尚子  
副議長 福原隆泰  
議員(議席順)

- 木村晴恵
- 神吉史久
- 奥田俊則
- 宮宅良
- 山本雅之
- 河野照代
- 岡田千賀子
- 藤原秀策
- 大辻裕彦
- 藤田博
- 松岡光子
- 田中久子

公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。ご理解とご協力をお願いします。